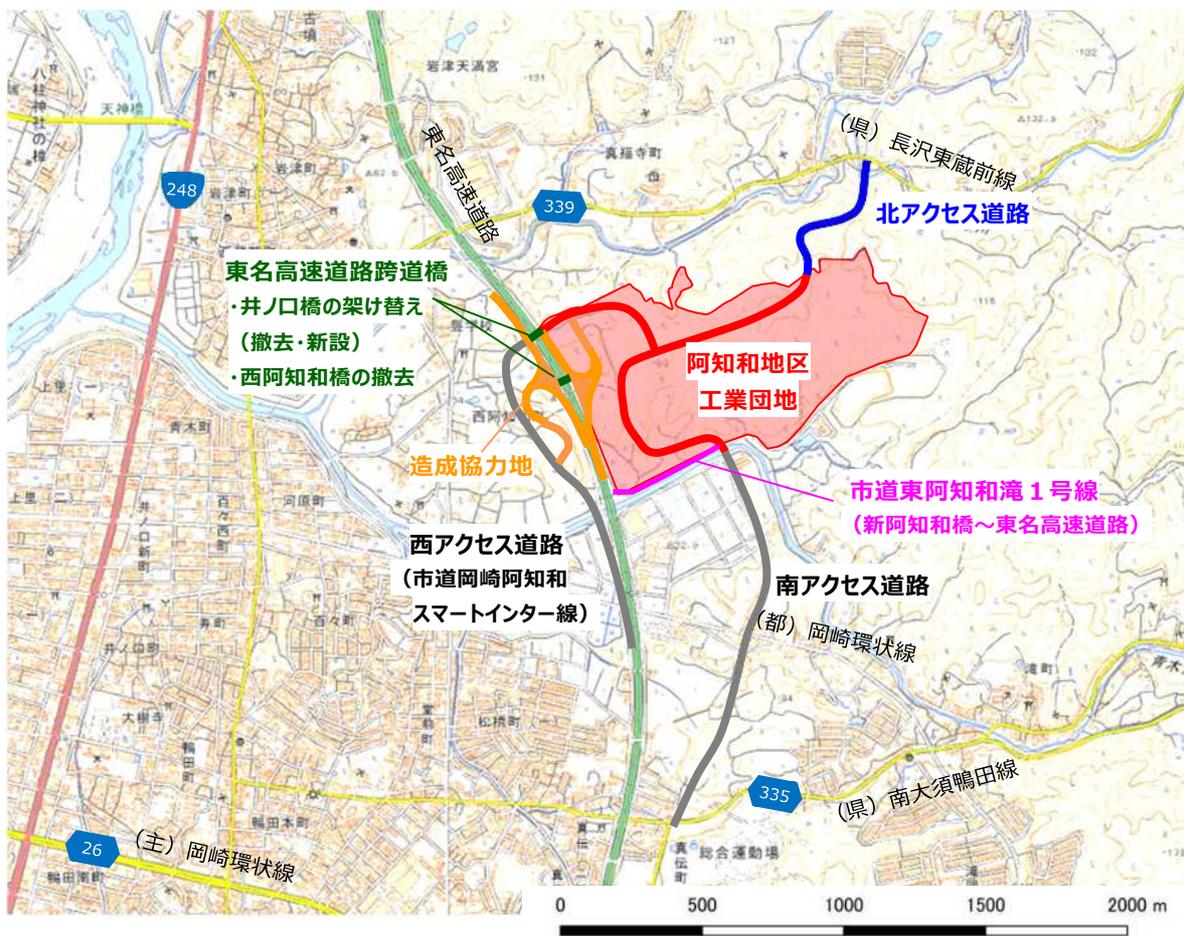


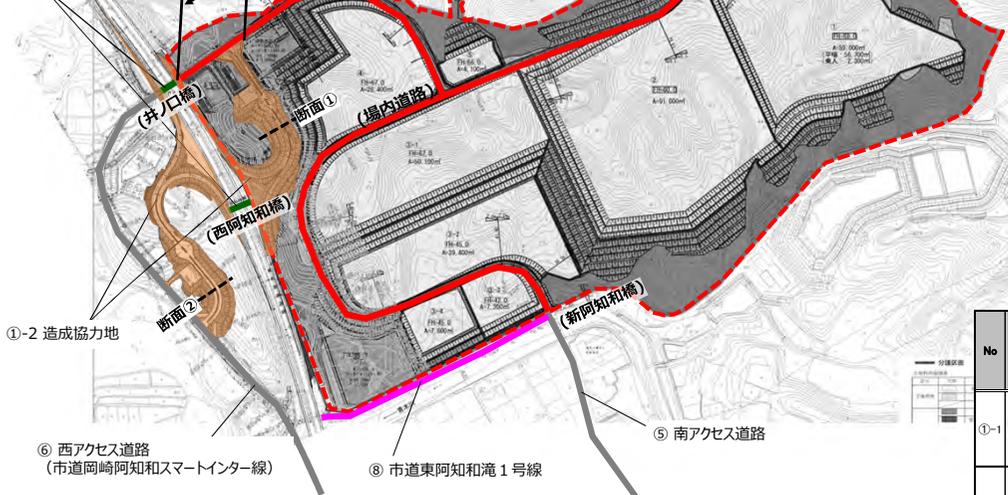
事業位置図



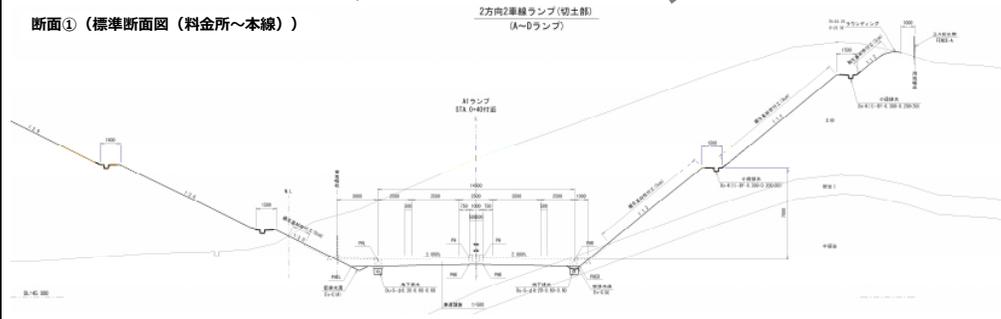
事業区分図

- ⑦ 東名高速道路 跨道橋
・井ノ口橋の架け替え
(撤去・新設)
・西阿知和橋の撤去
- ② 場内道路
(市が詳細設計を行う区間)

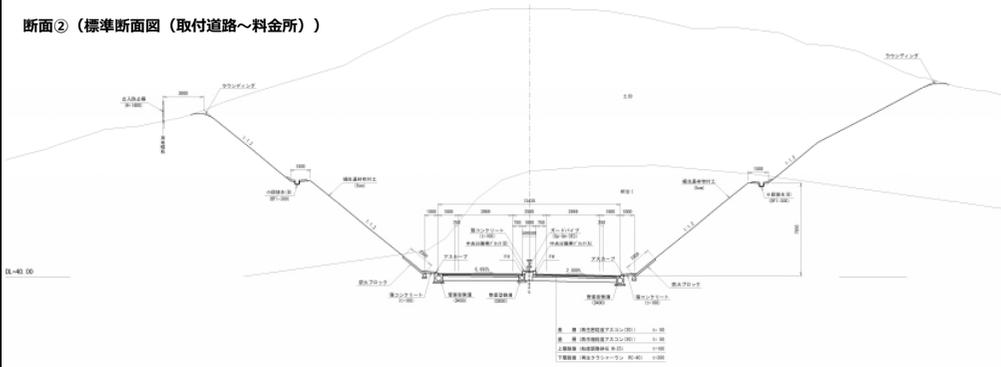
- ①-1 阿知和地区工業団地 (調整池、流末水路等を含む)
- ② 場内道路
- ③ 水道施設
- ⑩ 自然環境保全対策



断面① (標準断面図 (料金所～本線))



断面② (標準断面図 (取付道路～料金所))

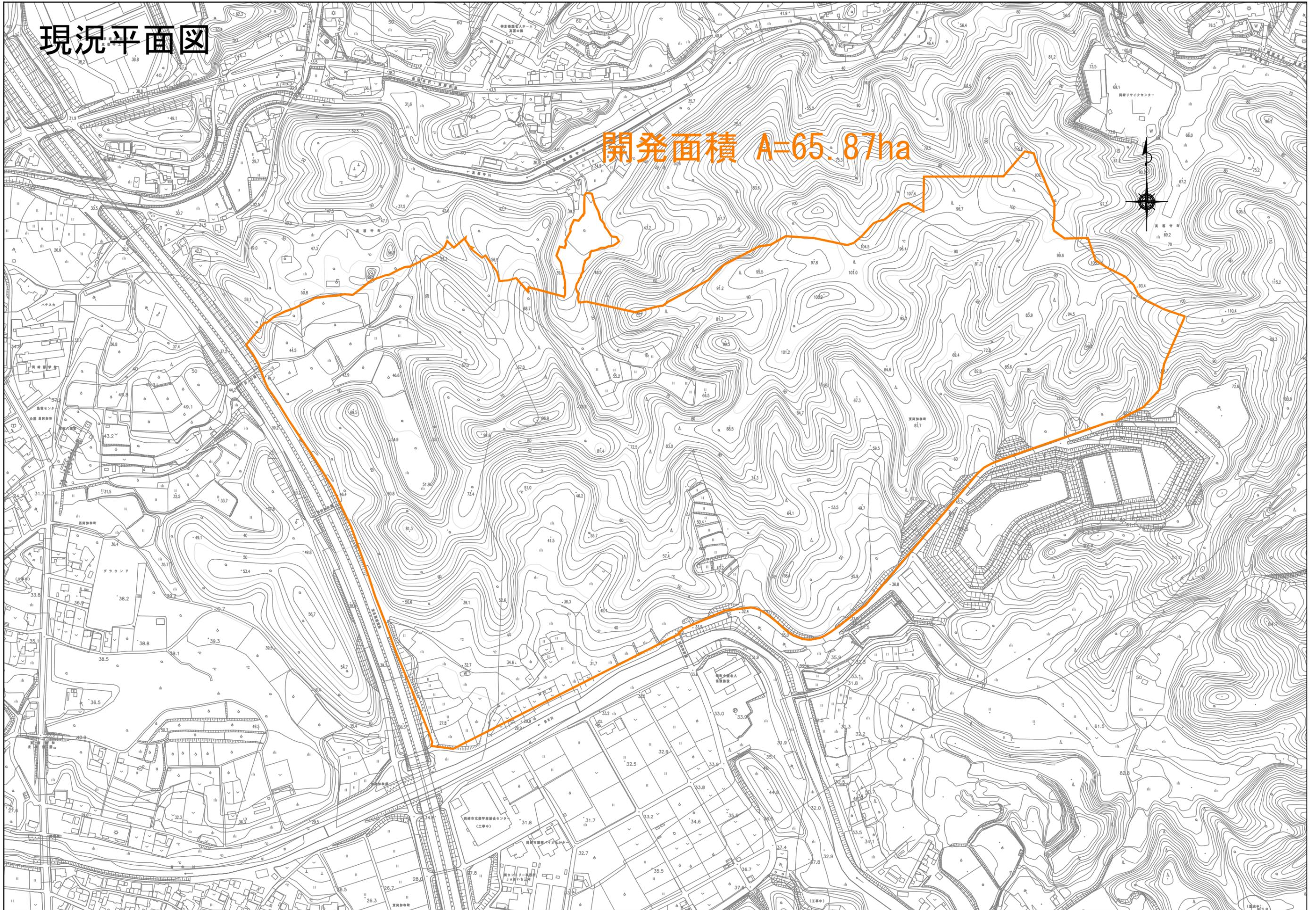


※断面図は「令和元年度(仮称)岡崎阿知和スマートインターチェンジ詳細設計業務」より抜粋詳細については当該業務成果にて確認すること。

| No | 項目 | 【事業区分】 | | 備考 | 参考資料 |
|-----|--|---------------------|----------------|---|--|
| | | ○=本事業対象 設計(詳細設計) | ×=本事業対象外 施工 | | |
| ①-1 | 阿知和地区工業団地 (調整池、流末水路等を含む) | ○ | ○ | ・詳細設計、設計ともに、本事業の対象とする | ・H30年度 阿知和地区工業団地 基本設計業務 報告書 |
| ①-2 | 造成協力地 (市が実施) | × | ○ | ・詳細設計は、本事業対象外とする。 ・施工は本事業で実施する。 | ・R元年度(仮称)岡崎阿知和 スマートIC詳細設計業務 報告書 |
| ② | 場内道路 | ○ | ○ | ・詳細設計、設計ともに、本事業の対象とする ※(仮称)岡崎阿知和スマートIC上り出入口交差点～井ノ口橋交差点までの区間は別途、市が詳細設計を行う | ・H30年度 阿知和地区工業団地 基本設計業務 報告書 |
| ③ | 水道施設 (ポンプ場、配水塔、調整池、減圧弁等のうち必要なもの及び水道管) | ○ | ○ | ・詳細設計、施工ともに、本事業の対象とする。 | ・R元年度 阿知和地区工業団地 配水施設基本計画策定業務 報告書 |
| ④ | 北アクセス道路 | × | ○ | ・詳細設計は、本事業対象外とする。(別途、市がR3年度に実施予定) ・施工は、追加契約(本事業に係る契約の変更又は別途随意契約)の予定 | ・H28年度 阿知和地区工業団地 造成事業に伴う周辺道路 検討業務 報告書 |
| ⑤ | 南アクセス道路 | × | × | ・詳細設計、施工ともに、本事業対象外とする。 ※ただし、本事業で活用する土砂の受入れを行うこと。 | |
| ⑥ | 西アクセス道路 (岡崎阿知和スマートインター線) | × | × | ・詳細設計、施工ともに、本事業対象外とする。 ※ただし、本事業で活用する土砂の受入れを行うこと。 | ・R元年度 市道岡崎阿知和 スマートインター 線 詳細設計業務その2 報告書 |
| ⑦ | 東名高速道路 跨道橋 ・井ノ口橋の架け替え(撤去・新設) ・西阿知和橋の撤去 | × | ○ | ・詳細設計は、本事業対象外とする。(別途、市が令和2年度に実施予定) ・施工は本事業で実施する。 | ・R元年度 市道岡崎阿知和 スマートインター 線 詳細設計業務 報告書 |
| ⑧ | 市道東阿知和滝1号線 (阿知和橋～東名高速道路の区間について、幅員4mの市道として再整備を行う。) | ○ | ○ | ・詳細設計、設計ともに、本事業の対象とする | — |
| ⑨ | 自然環境保全対策 (ピオトープ) | × | × | ・本事業対象外とする。 ※ただし、進出予定企業の意向を確認のうえ、ピオトープの整備箇所を決め、租達成を行うこと。(整備規模は約0.7haとする。)また、施工中のピオトープの整備(仮設)を行うこと。 | ・H27～28年度 岡崎阿知和地区 工業団地造成事業に係る生活環境等 影響調査業務 報告書 ・H28～29年度 岡崎阿知和地区 工業団地造成事業に係る生活環境等 影響調査補充調査業務 報告書 |
| ⑩ | 自然環境保全対策 (植物類及び動物(鳥類を除く)の移植) | × | × | ・本事業対象外とする。 ※ただし、施工中に事業者が、重要種を発見した場合等は、移植に協力するなど適正に対処すること。 | |

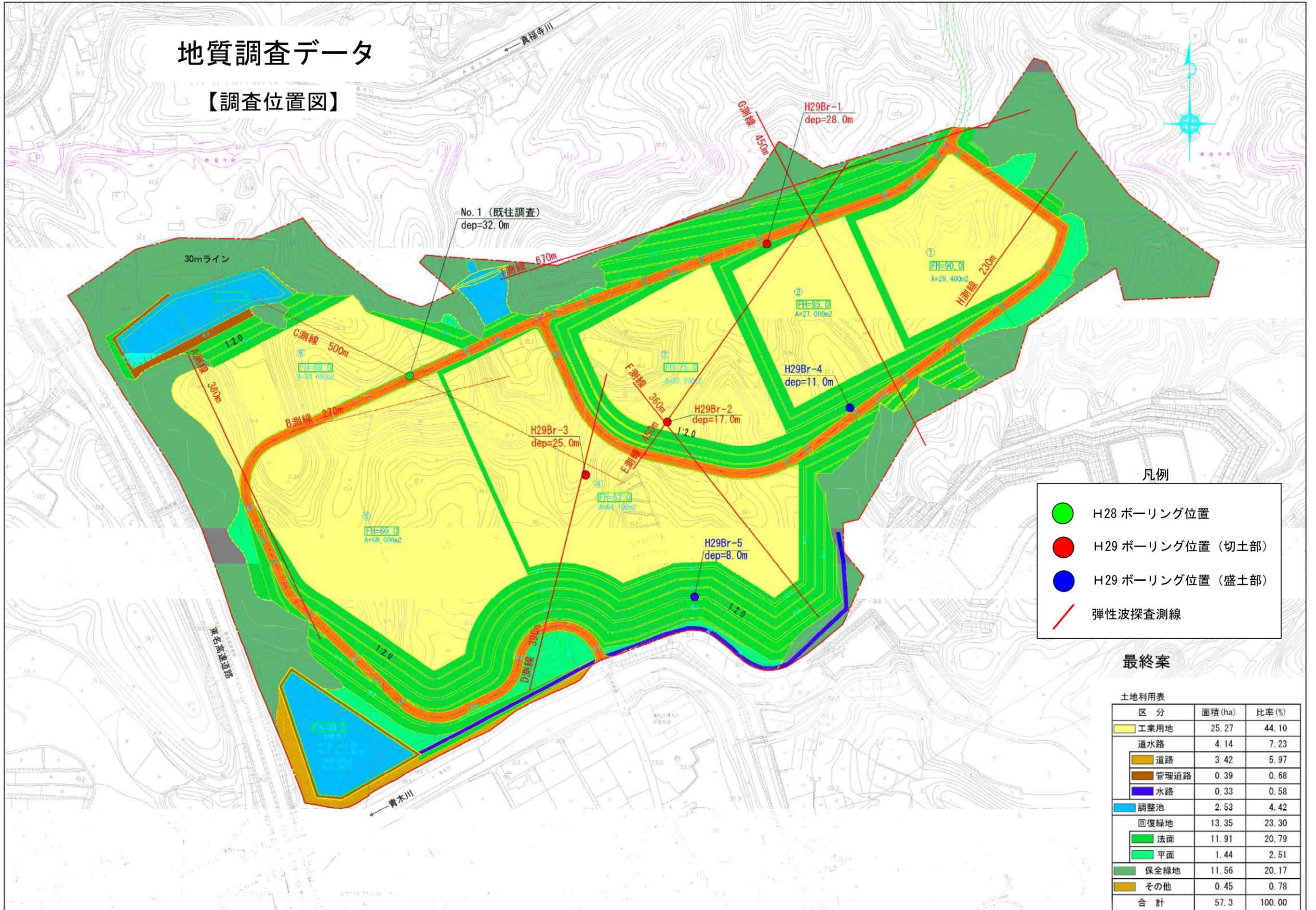
現況平面図

開発面積 A=65.87ha



地質調査データ

【調査位置図】



凡例

- H28 ボーリング位置
- H29 ボーリング位置 (切土部)
- H29 ボーリング位置 (盛土部)
- 弾性波探査測線

最終案

土地利用表

| 区分 | 面積 (ha) | 比率 (%) |
|------|---------|--------|
| 工業用地 | 25.27 | 44.10 |
| 道水路 | 4.14 | 7.23 |
| 道路 | 3.42 | 5.97 |
| 管理道路 | 0.39 | 0.68 |
| 水路 | 0.33 | 0.58 |
| 調整池 | 2.53 | 4.42 |
| 回復緑地 | 13.35 | 23.30 |
| 法面 | 11.91 | 20.79 |
| 平面 | 1.44 | 2.51 |
| 保全緑地 | 11.56 | 20.17 |
| その他 | 0.45 | 0.78 |
| 合計 | 57.3 | 100.00 |

ボーリング柱状図

調査名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

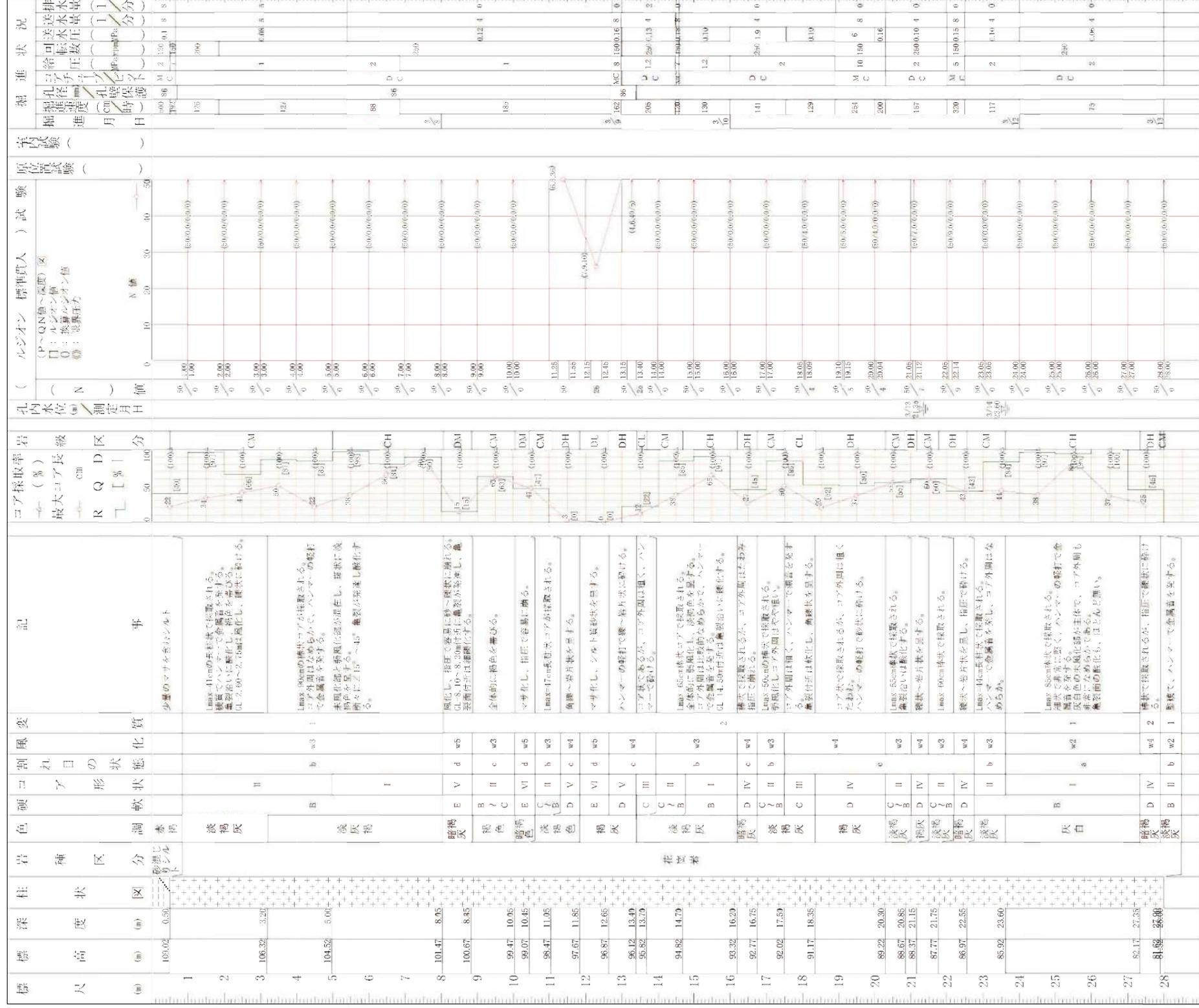
事業・工事名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

ボーリングNo 2

シ-№

| | | | | | |
|--------|----------------|------|---------------------------|----|-----------------|
| ボーリング名 | H129Br-1 | 調査位置 | 岡崎市東阿知和町地内 | 緯度 | 34° 59' 51.81" |
| 発注機関 | 岡崎市経済振興部 商工労働課 | 調査期間 | 平成 30年 3月 8日 ~ 30年 3月 13日 | 経度 | 137° 11' 26.07" |

| | | | | | |
|------|---------|----|----------------|------|-------|
| 孔口標高 | 109.52m | 方位 | 北 0° | 地盤勾配 | 水平0° |
| 総掘進長 | 28.00m | 角 | 上 180° 下 0° | 使用機種 | MS314 |



ボーリング柱状図

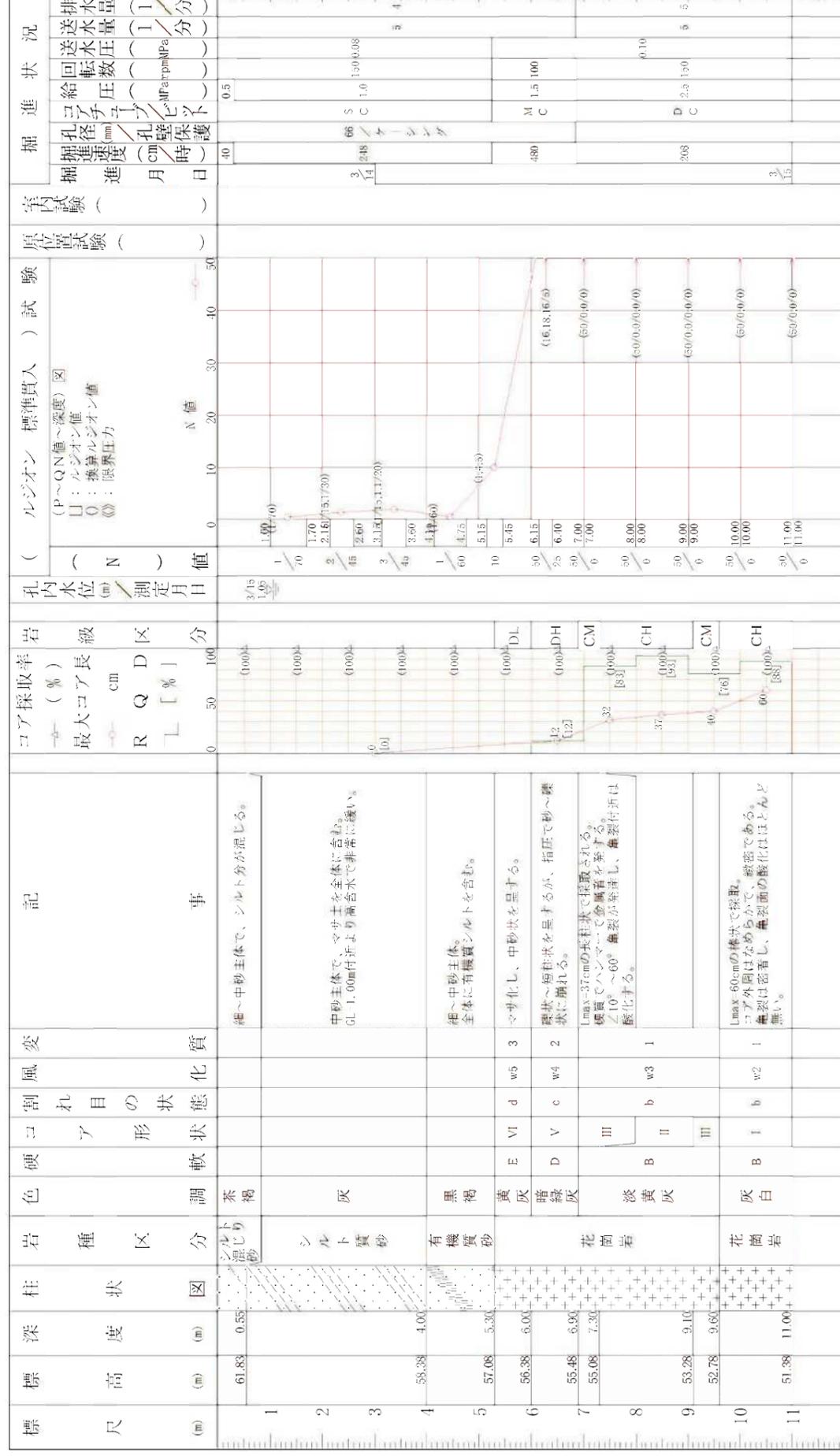
調査名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

ボーリングNo 4

シ-NNo

事業・工事名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

| | | | | | |
|--------|----------------|------|-----------------------------------|------|-----------------|
| ボーリング名 | H29Br-4 | 調査位置 | 岡崎市東阿知町地内 | 北緯 | 34° 59' 44.82" |
| 発注機関 | 岡崎市経済振興部 商工労政課 | 調査期間 | 平成 30年 3月 13日 ~ 30年 3月 15日 | 東経 | 137° 11' 29.55" |
| 孔口標高 | 62.38m | 方位 | 北 0° 東 90° 南 180° 西 270° | 試錐機 | KR30 |
| 総掘進長 | 11.00m | 角度 | 鉛直 0° 傾斜 10° | エンジン | YANMAR NFAD6 |
| | | | | ポンプ | SP570 |



ボーリング柱状図

調査名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

ボーリングNo 02

シ-№

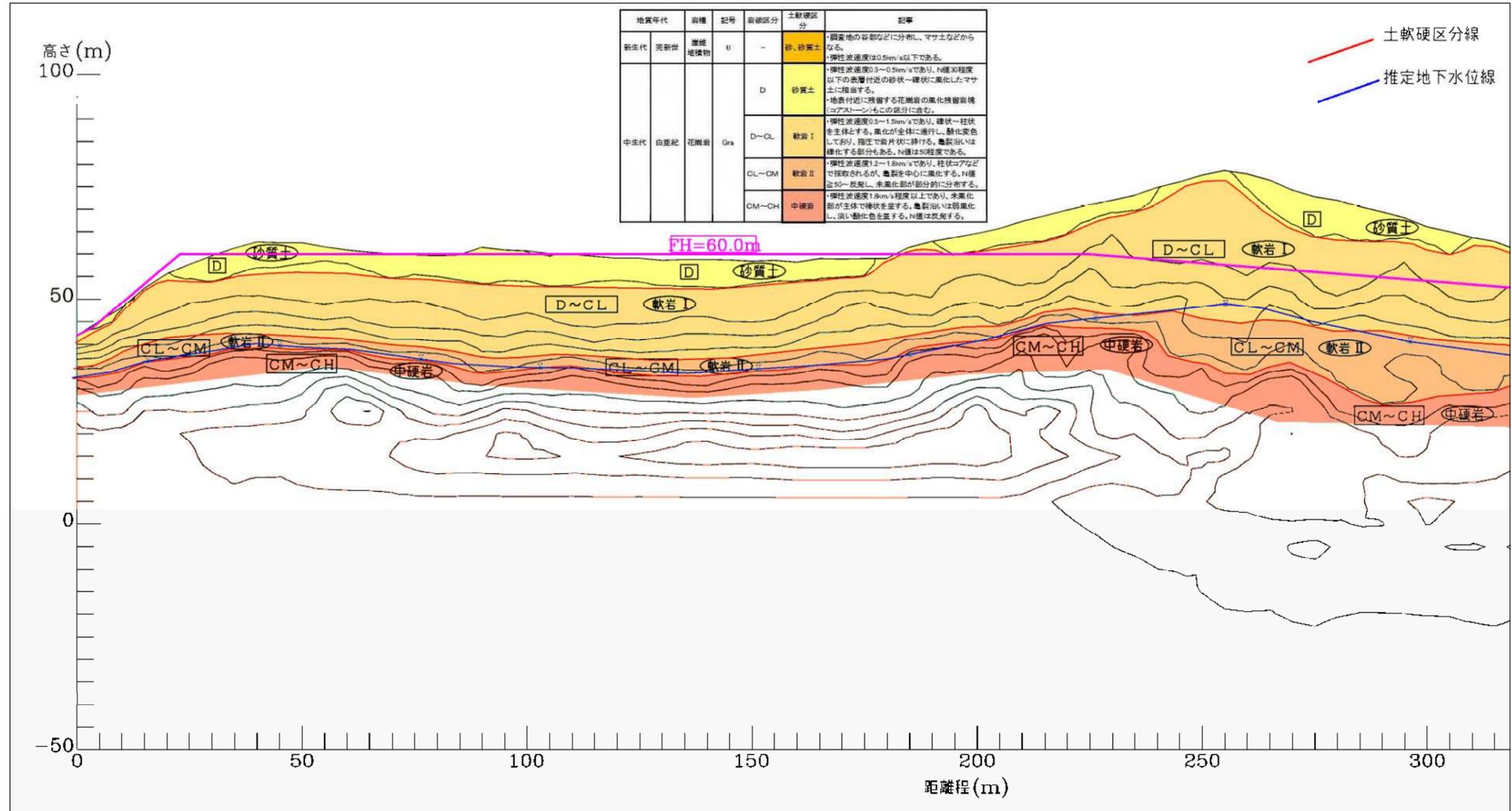
事業・工事名 阿知和地区工業団地造成事業に係る地質調査業務

| | | | | | |
|--------|----------------|------|-----------------------|-------------|-----------------|
| ボーリング名 | H29BT5 | 調査位置 | 岡崎市東阿知和町地内 | 緯度 | 34° 59' 38.39" |
| 発注機関 | 岡崎市経済振興部 商工労政課 | 調査期間 | 平成30年2月14日 ~ 30年2月15日 | 経度 | 137° 11' 22.87" |
| 孔口標高 | 37.26m | 方位 | 北 | DO D | |
| 総掘進長 | 8.00m | 角度 | 90° 東 | ポンプ | |
| | | 地盤勾配 | 0° | EA-I: MS314 | |
| | | 使用機種 | 試錐機 | | |
| | | | エンジン | | |

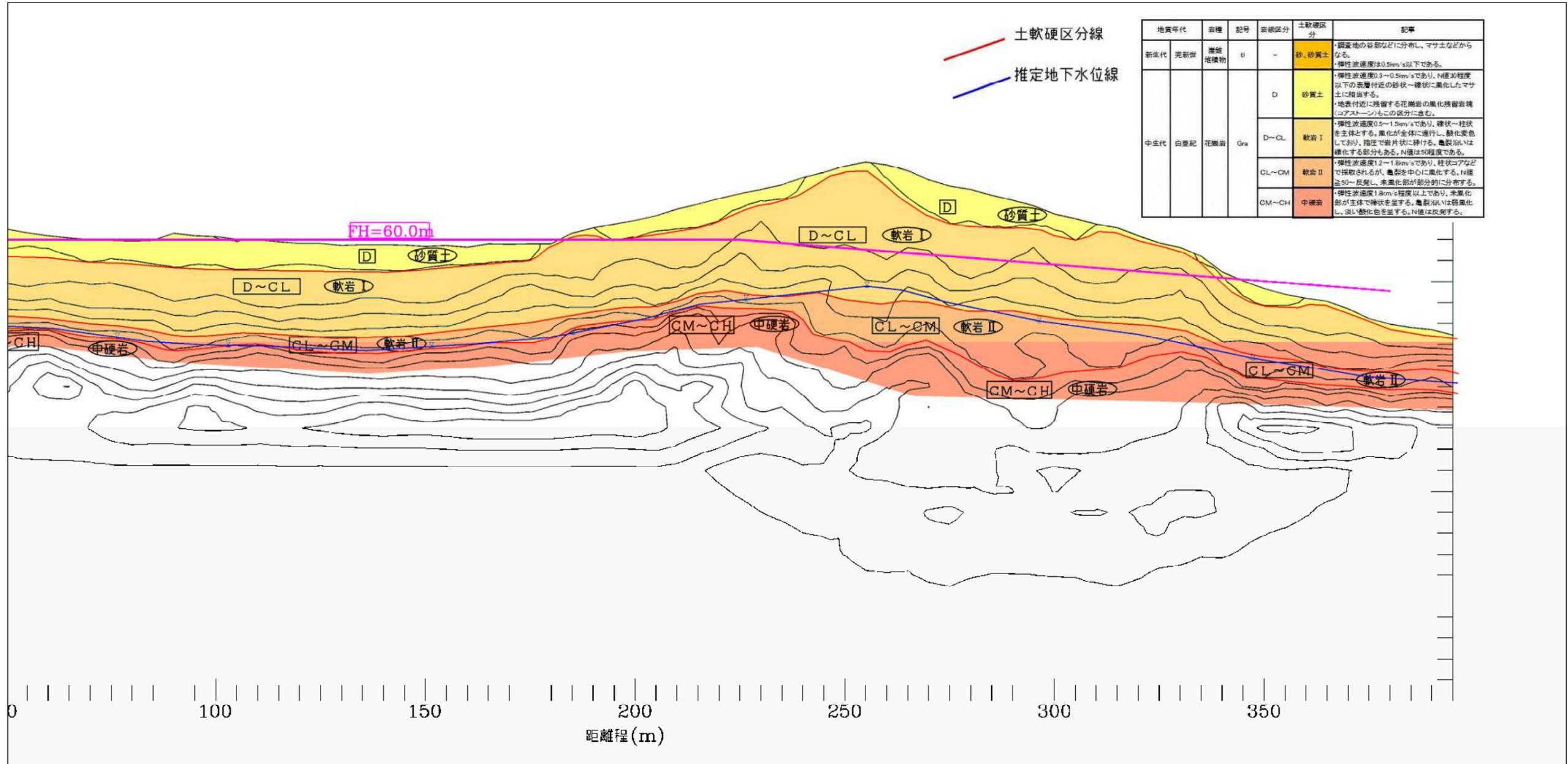
| 標尺 | 高度 (m) | 深度 (m) | 柱状図 | 岩種区分 | 色調 | 硬軟 | 割れ目の形状 | 変風 | 記 | コア採取率 (%) | 最大コア長 (cm) | RQD (%) | 岩級区分 | 孔内水位 (m) / 測定月日 | (ルゾオン標準貫入) 試験 | 原位置試験 | 室内試験 | 掘進状況 |
|----|--------|--------|-------|---------|----|----|--------|----|---|-----------|------------|---------|------|-----------------|---------------|-------|------|------------------------|
| 1 | 35.00 | 2.00 | シルト質砂 | 茶褐色 | D | IV | | | 在りへ中砂主体で、全粒は細砂を多量に含む。取扱い時に容易に崩壊。RQDは1.85%、シルトの塊石を抜き、RQDは30%と算定。最上層層で全粒粒に黒化を呈する。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 掘進速度 (cm/分) / 掘進時間 (分) |
| 2 | 34.26 | 3.00 | | 黄褐色 | D | IV | | | コアが充満。 | 0.0 | 0 | 0 | DH | 27.00 | | | | 0.2 |
| 3 | 33.00 | 3.45 | | 灰 / 灰褐色 | D | IV | | | コアが充満。4.25mmふるい通過率1.5%、1.0mmふるい通過率0.5%の砂、コアが採取される。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.50 |
| 4 | 32.00 | 4.25 | | 灰 / 灰褐色 | D | IV | | | コアが充満。4.25mmふるい通過率1.5%、1.0mmふるい通過率0.5%の砂、コアが採取される。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.2 |
| 5 | 31.26 | 5.00 | | 灰 / 灰褐色 | D | IV | | | コアが充満。4.25mmふるい通過率1.5%、1.0mmふるい通過率0.5%の砂、コアが採取される。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.2 |
| 6 | 30.00 | 6.00 | | 灰 / 灰褐色 | D | IV | | | コアが充満。4.25mmふるい通過率1.5%、1.0mmふるい通過率0.5%の砂、コアが採取される。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.2 |
| 7 | 29.26 | 8.00 | | 灰 / 灰褐色 | D | IV | | | コアが充満。4.25mmふるい通過率1.5%、1.0mmふるい通過率0.5%の砂、コアが採取される。 | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.2 |
| 8 | 28.00 | | | | | | | | | 0.0 | 0 | 0 | CL | 27.00 | | | | 0.2 |

弾性波探査に基づく想定土軟硬断面図

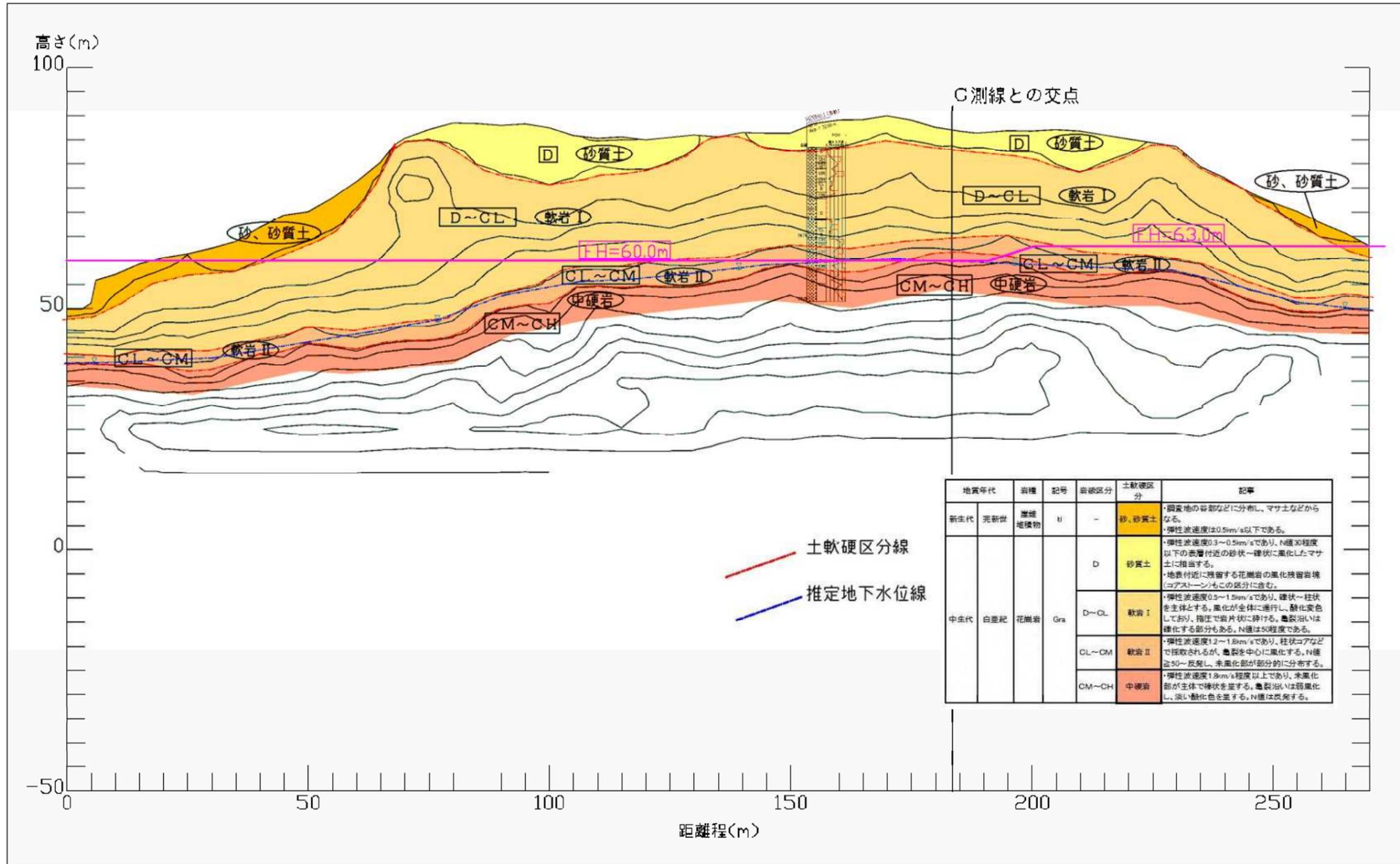
土軟硬断面図 (A測線-1)



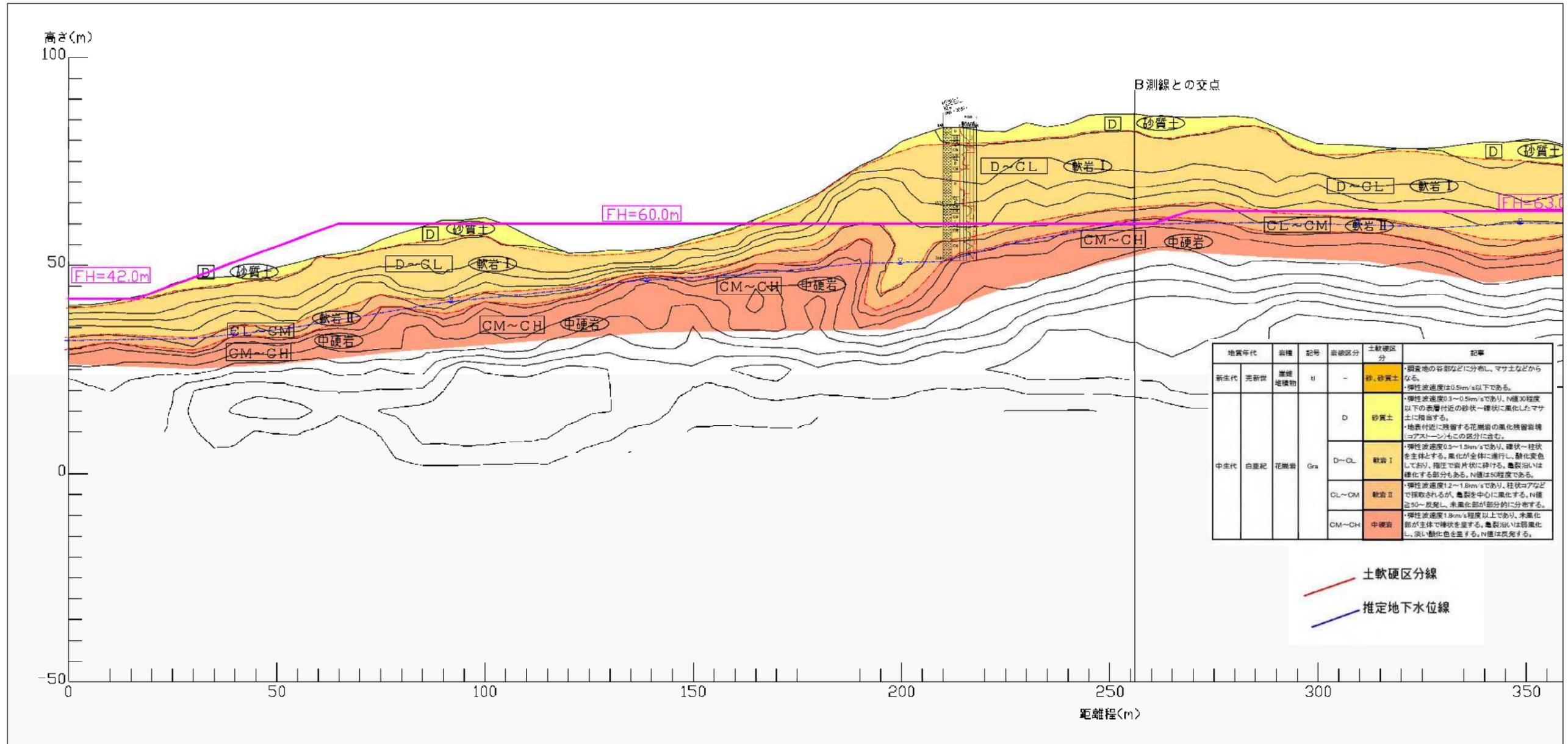
土軟硬断面図 (A測線-2)



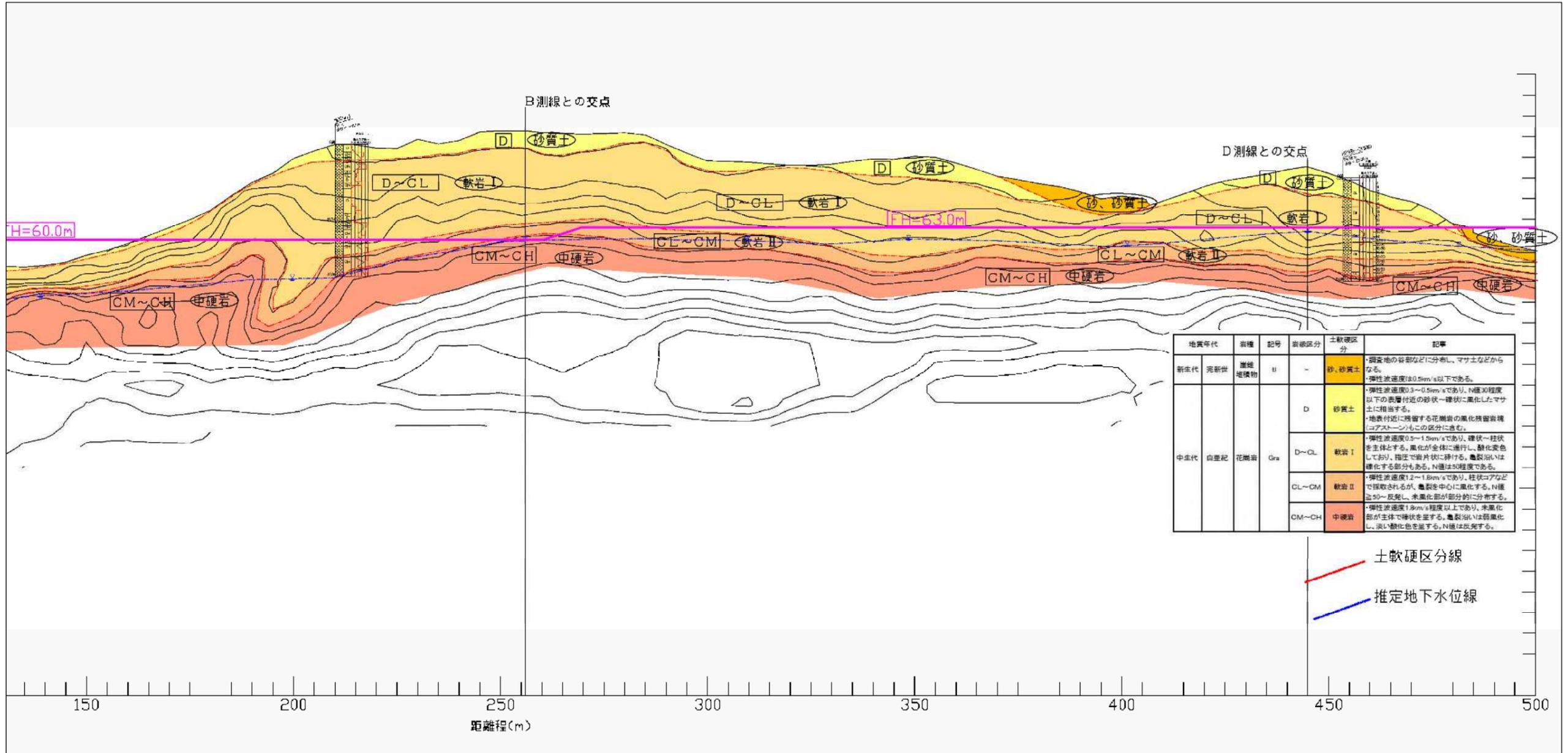
土軟硬断面図 (B測線)



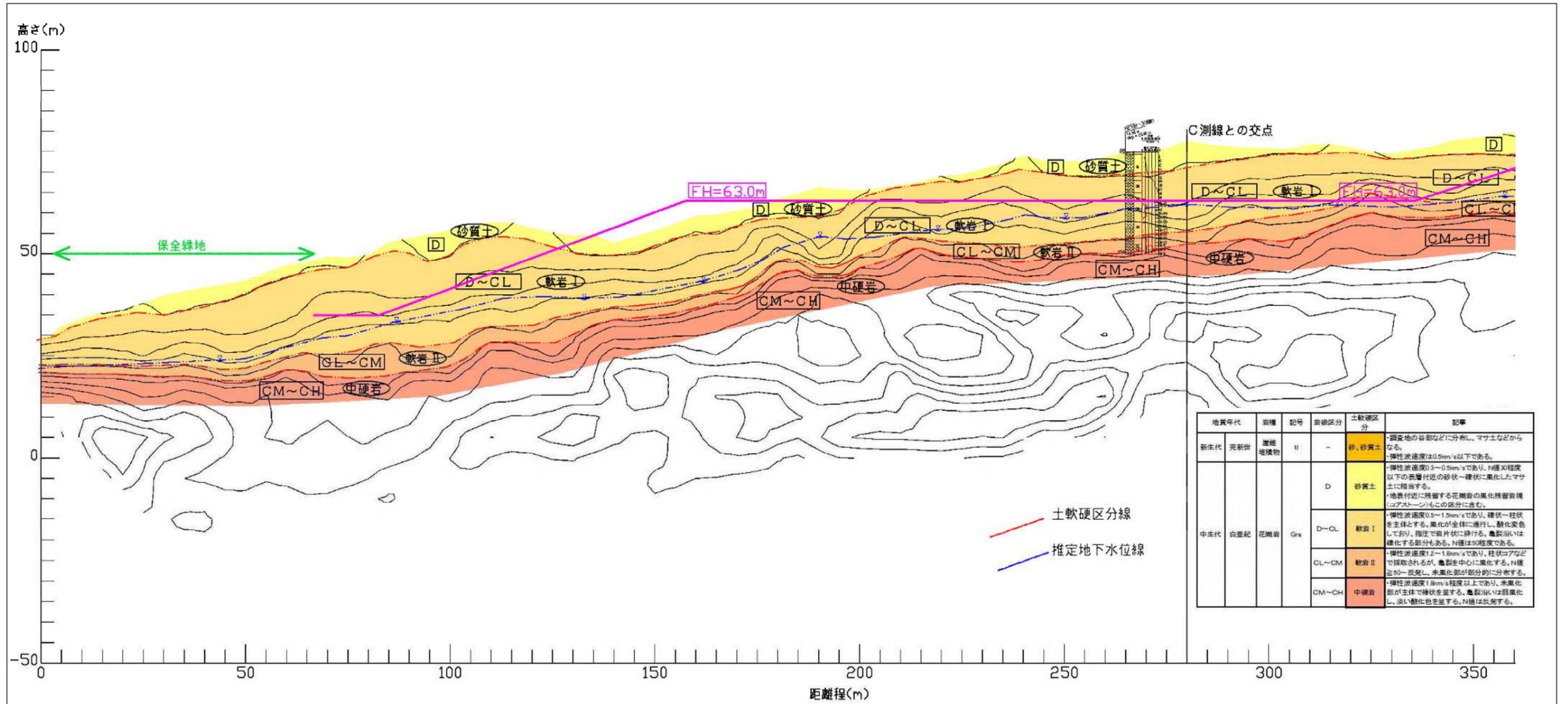
土軟硬断面図 (C測線-1)



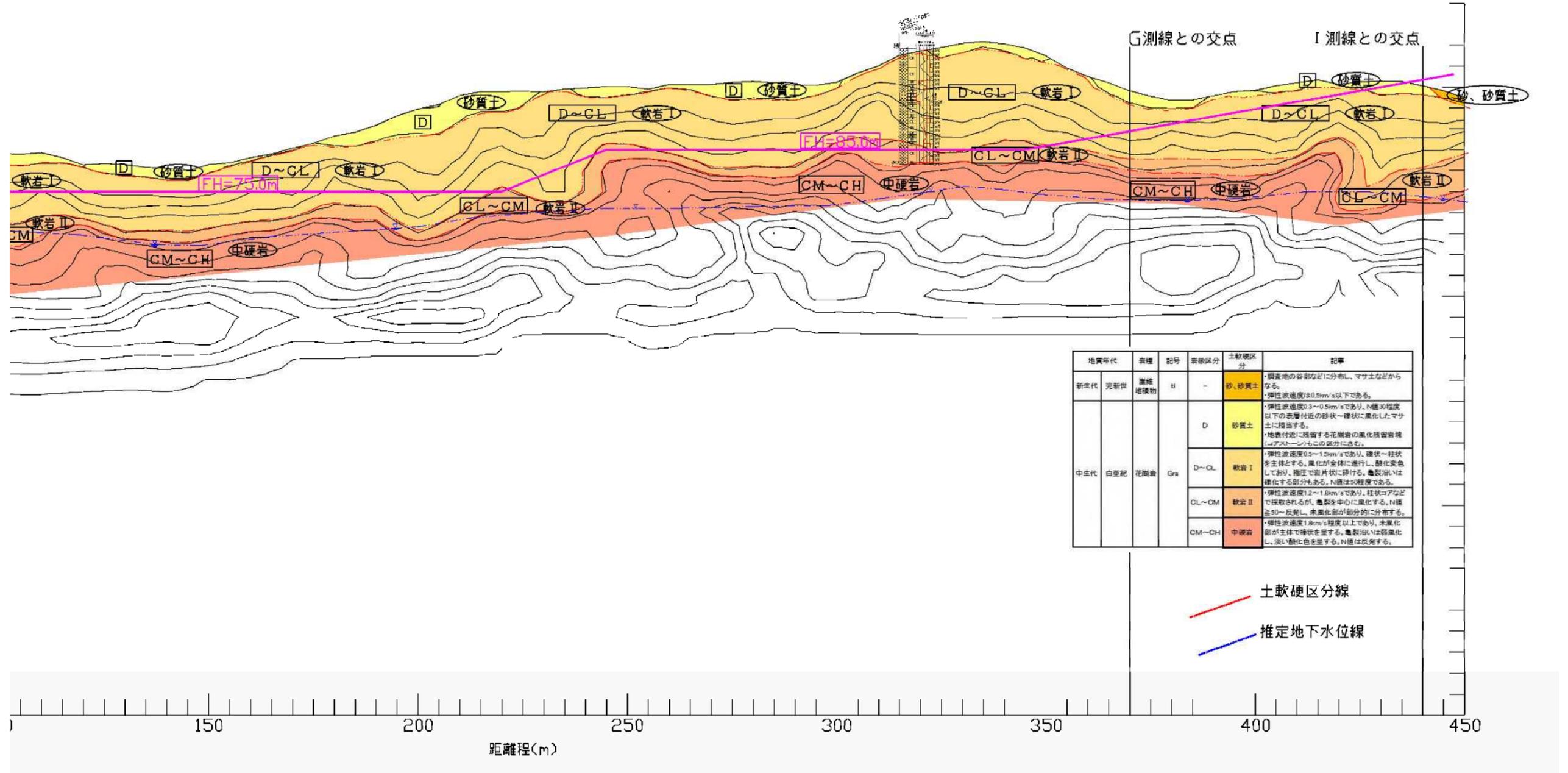
土軟硬断面図 (C測線-2)



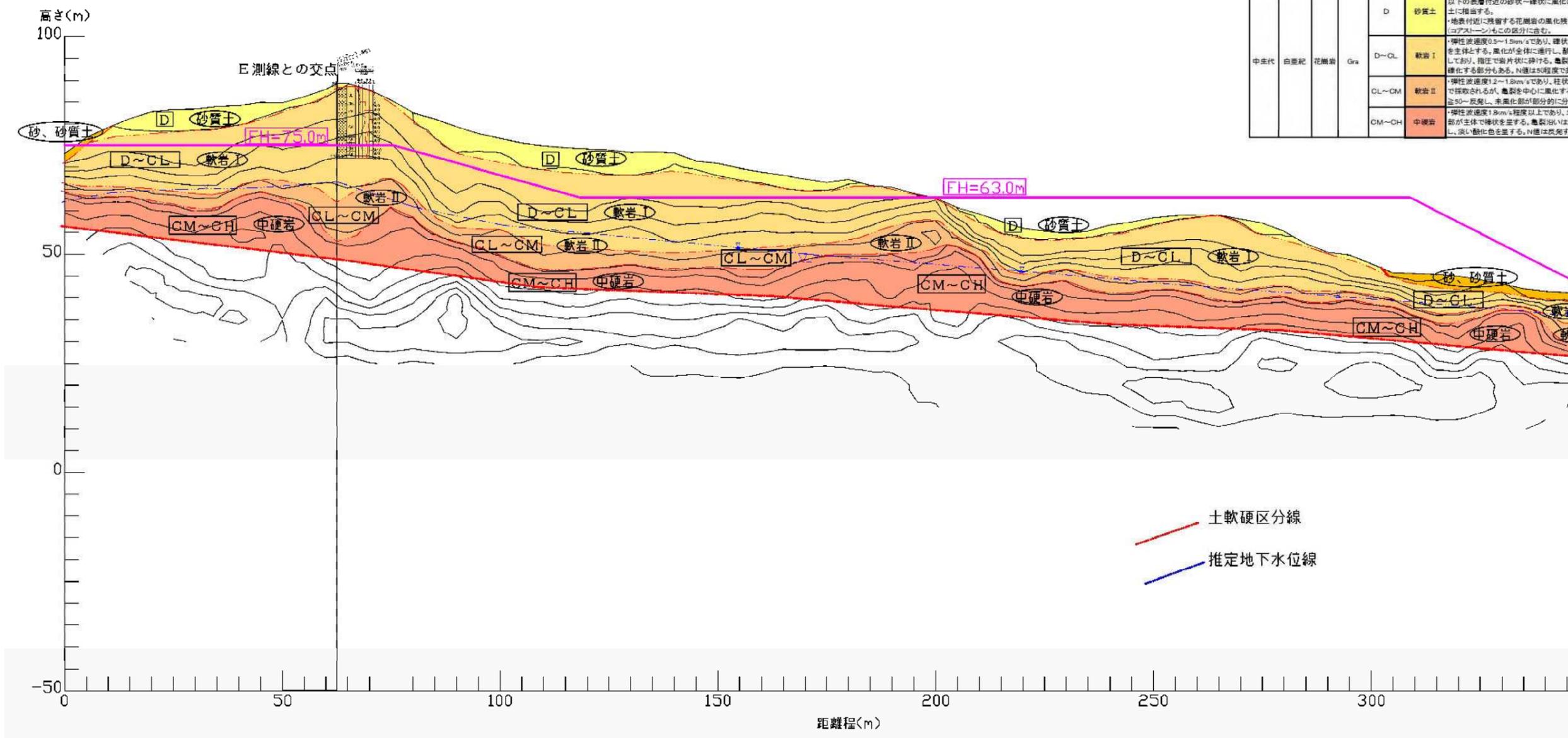
土軟硬断面図 (D測線-1)



土軟硬断面図 (E測線-2)



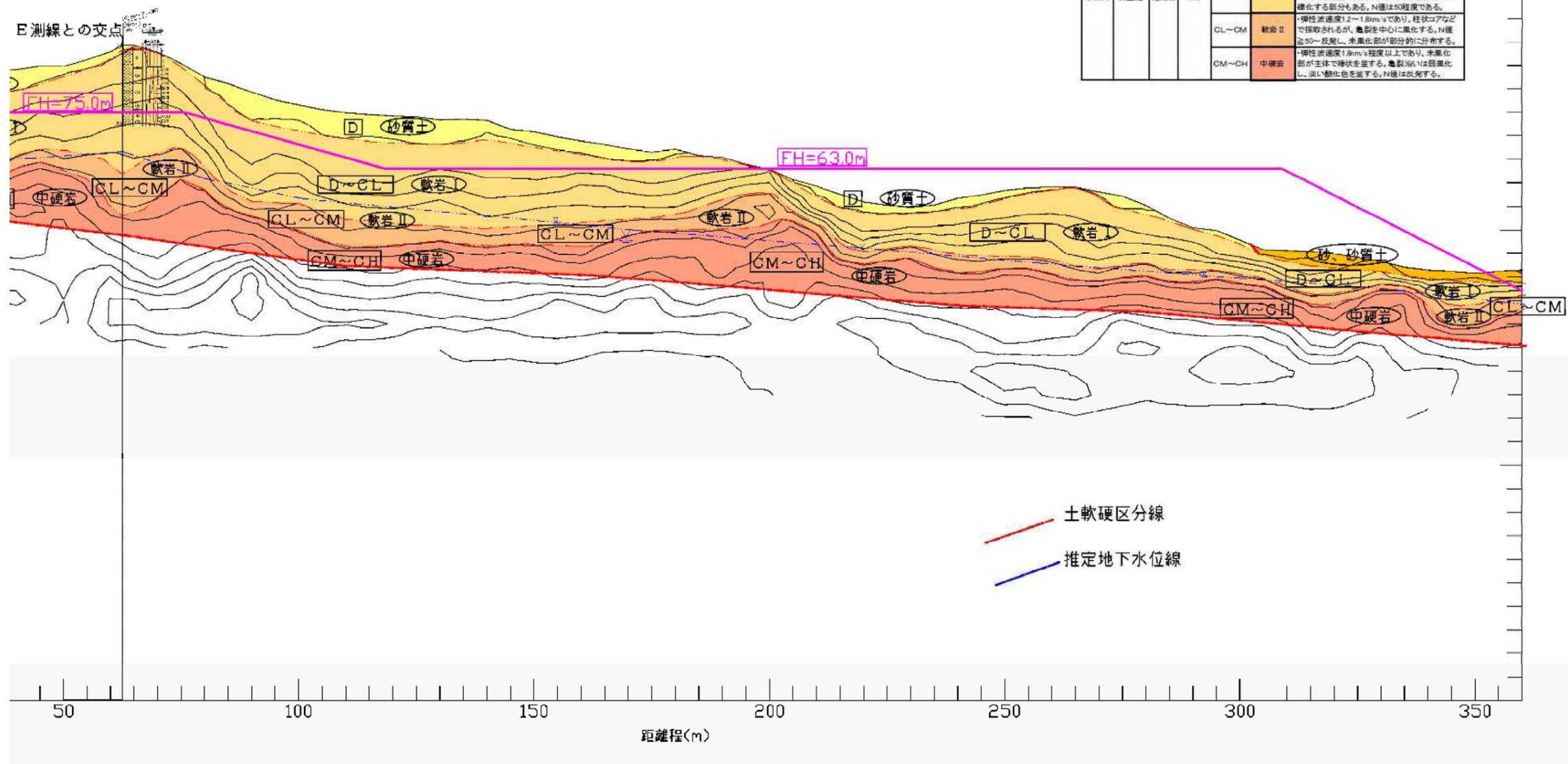
土軟硬断面図 (F測線-1)



| 地質年代 | 岩種 | 記号 | 土軟硬区分 | 記号 | 記号 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 新生代 | 更新世 | 崖壁堆積物 | U | - | 砂、砂質土 |
| | | | | D | 砂質土 |
| 中生代 | 白堊紀 | 花崗岩 | Gra | D~CL | 軟岩 I |
| | | | | CL~CM | 軟岩 II |
| | | | | CM~CH | 中硬岩 |

土軟硬区分線
推定地下水位線

土軟硬断面図 (F測線-2)

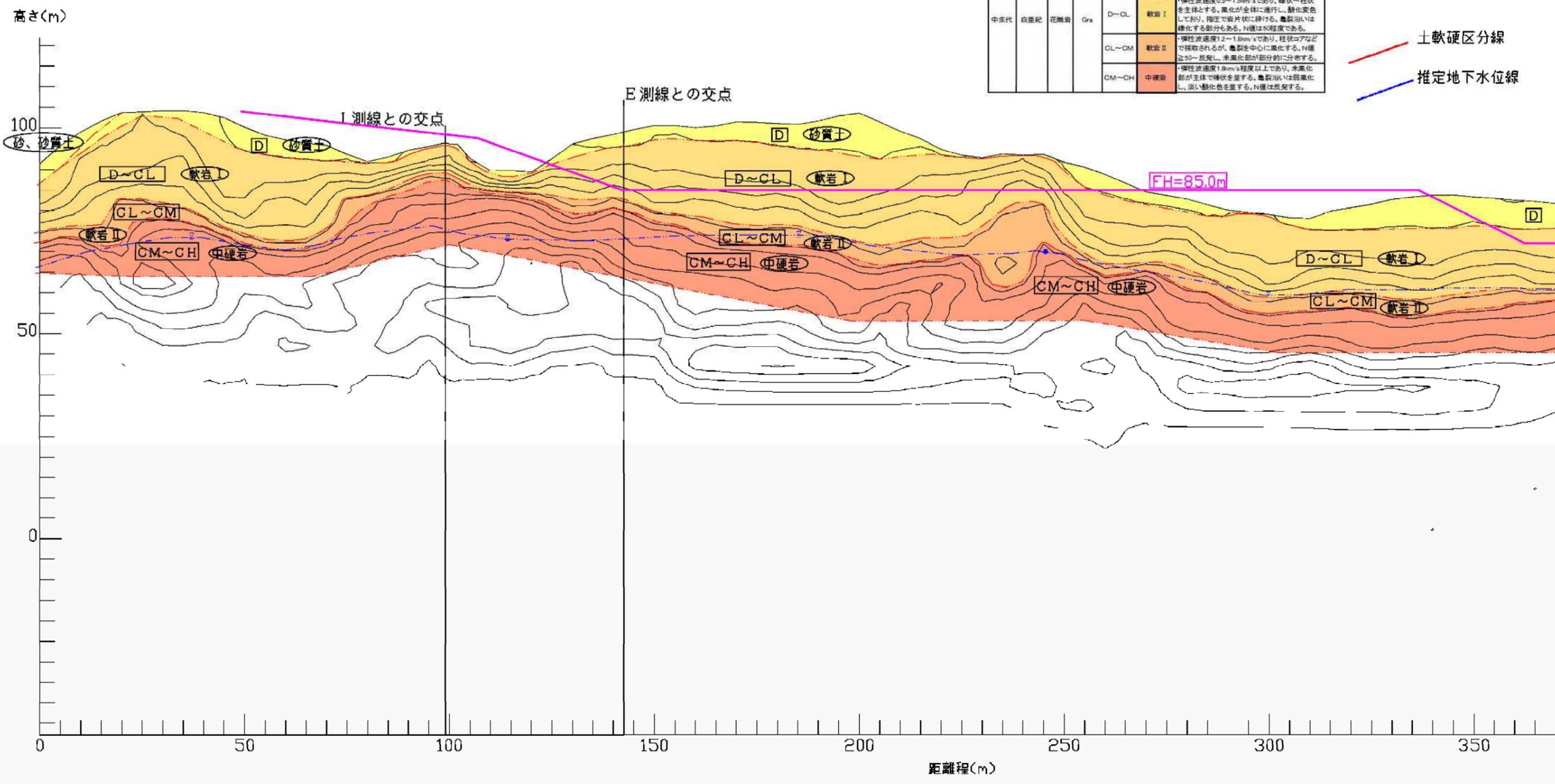


| 地質年代 | 岩種 | 記号 | 土軟硬区分 | 記事 | |
|------|-----|-------|-------|-------|---|
| 新生代 | 更新世 | 崖壁堆積物 | ii | - | ・調査地の谷部などに分布し、マサ土などからなる。 ・弾性波速度は0.5km/s以下である。 |
| | | | D | 砂質土 | ・弾性波速度0.3~0.5km/sであり、N値30程度以下の表層付近の砂状~礫状に礫化したマサ土に相当する。 ・地表付近に残存する花崗岩の風化残留岩塊(コアストーン)もこの区分に含む。 |
| 中生代 | 白堊紀 | 花崗岩 | D~CL | 軟岩 I | ・弾性波速度0.5~1.0km/sであり、礫状~粒状を主体とする。風化が全体に進行し、酸化変色しており、地圧で岩片状に砕ける。亀裂沿いは礫化する部分もある。N値は50程度である。 |
| | | | CL~CM | 軟岩 II | ・弾性波速度1.2~1.8km/sであり、柱状コアなどで採取されるが、亀裂を中心に風化する。N値は50~反発し、未風化部が部分的に分布する。 |
| | | | CM~CH | 中硬岩 | ・弾性波速度1.8km/s程度以上であり、未風化部が主体で礫状を呈する。亀裂沿いは弱風化し、淡い酸化色を呈する。N値は反発する。 |

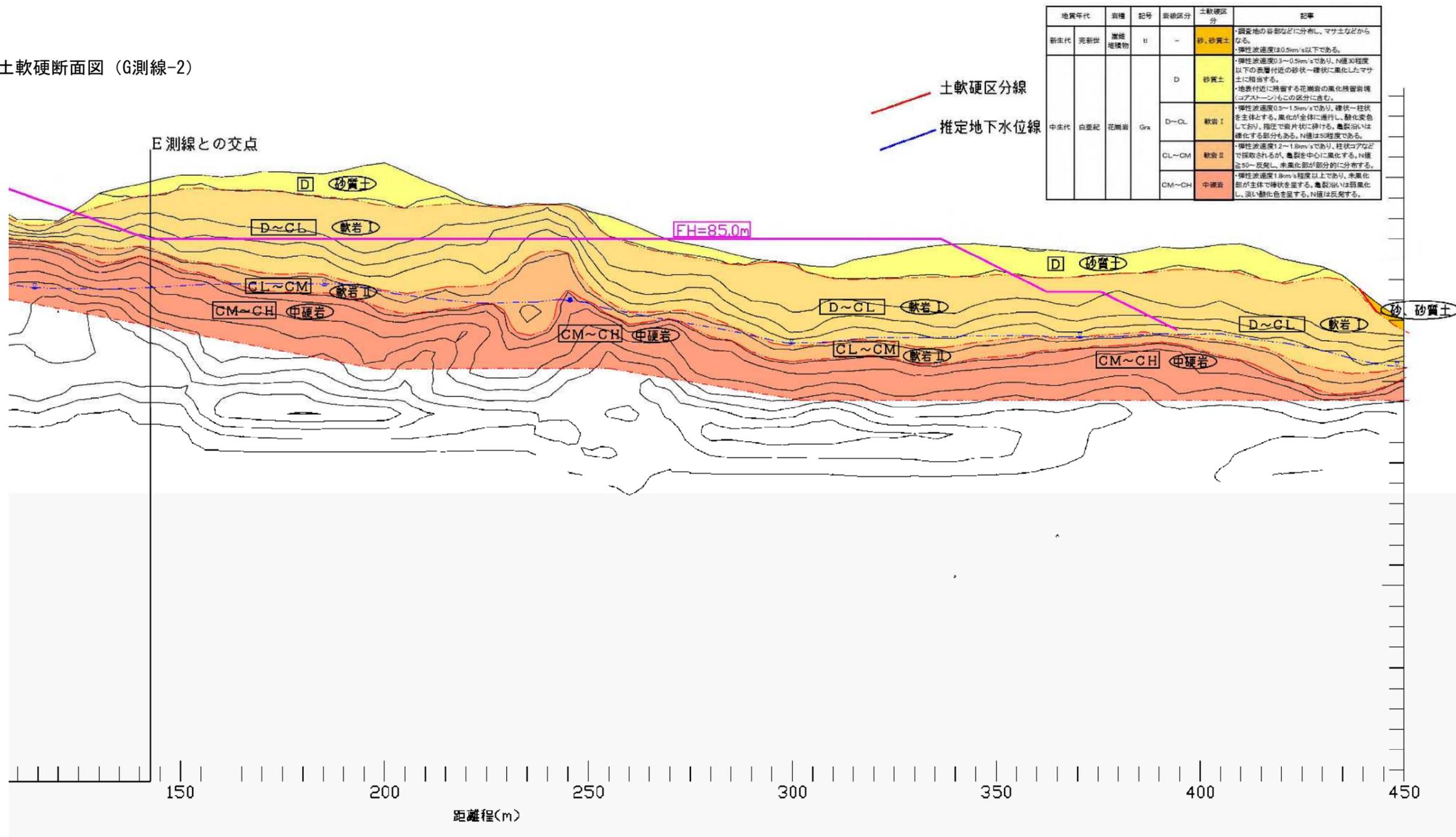
土軟硬区分線
推定地下水位線

土軟硬断面図 (G測線-1)

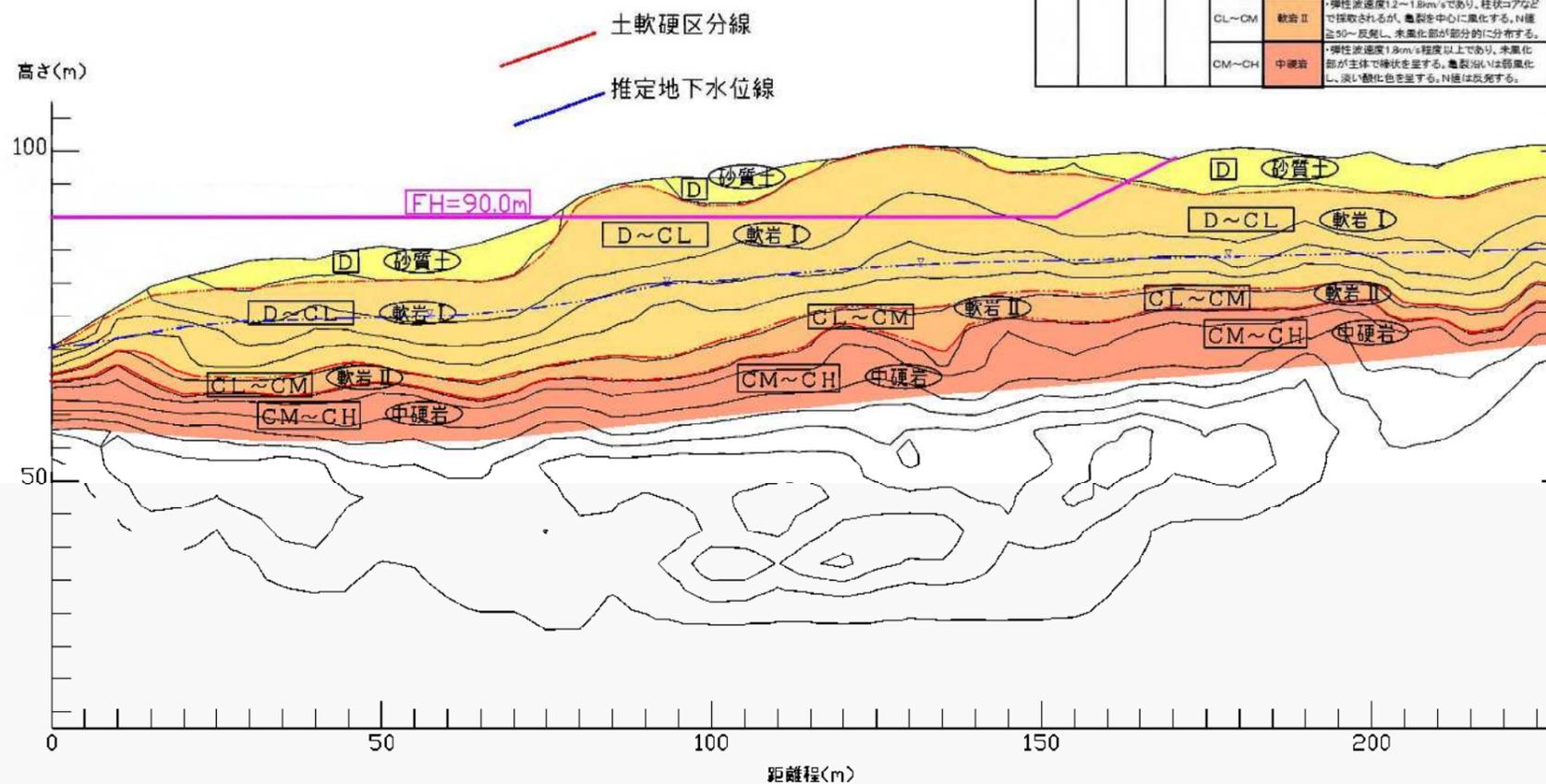
| 地質年代 | 岩種 | 記号 | 岩級区分 | 土軟硬区分 | 記事 |
|------|-------|-----|------|-------|--|
| 新生代 | 層状堆積物 | U | - | 砂、砂質土 | ・調査地の各層などに分布し、マサ土などからなる。 ・弾性波速度は0.5m/s以下である。 |
| | | | | 砂質土 | ・弾性波速度0.3~0.5m/sであり、N値30程度以下の表層付近の砂状~礫状に風化したマサ土に相当する。 ・地表付近に残留する花崗岩の風化残留岩塊(コアストーン)もこの区分に含まれる。 |
| 中生代 | 花崗岩 | Gra | | 軟岩 I | ・弾性波速度0.5~1.5m/sであり、礫状~柱状を主体とする。風化が全体に進行し、酸化変色しており、指圧で薄片状に碎ける。亀裂は風化する部分もある。N値は50程度である。 |
| | | | | 軟岩 II | ・弾性波速度1.2~1.8m/sであり、柱状コアなどで採取されるが、亀裂を中心に風化する。N値は30~40程度あり、未風化部が部分的に分布する。 |
| | | | | 中硬岩 | ・弾性波速度1.8m/s程度以上であり、未風化部が主体で塊状を呈する。亀裂は弱風化し、深い酸化色を呈する。N値は反発する。 |



土軟硬断面図 (G測線-2)



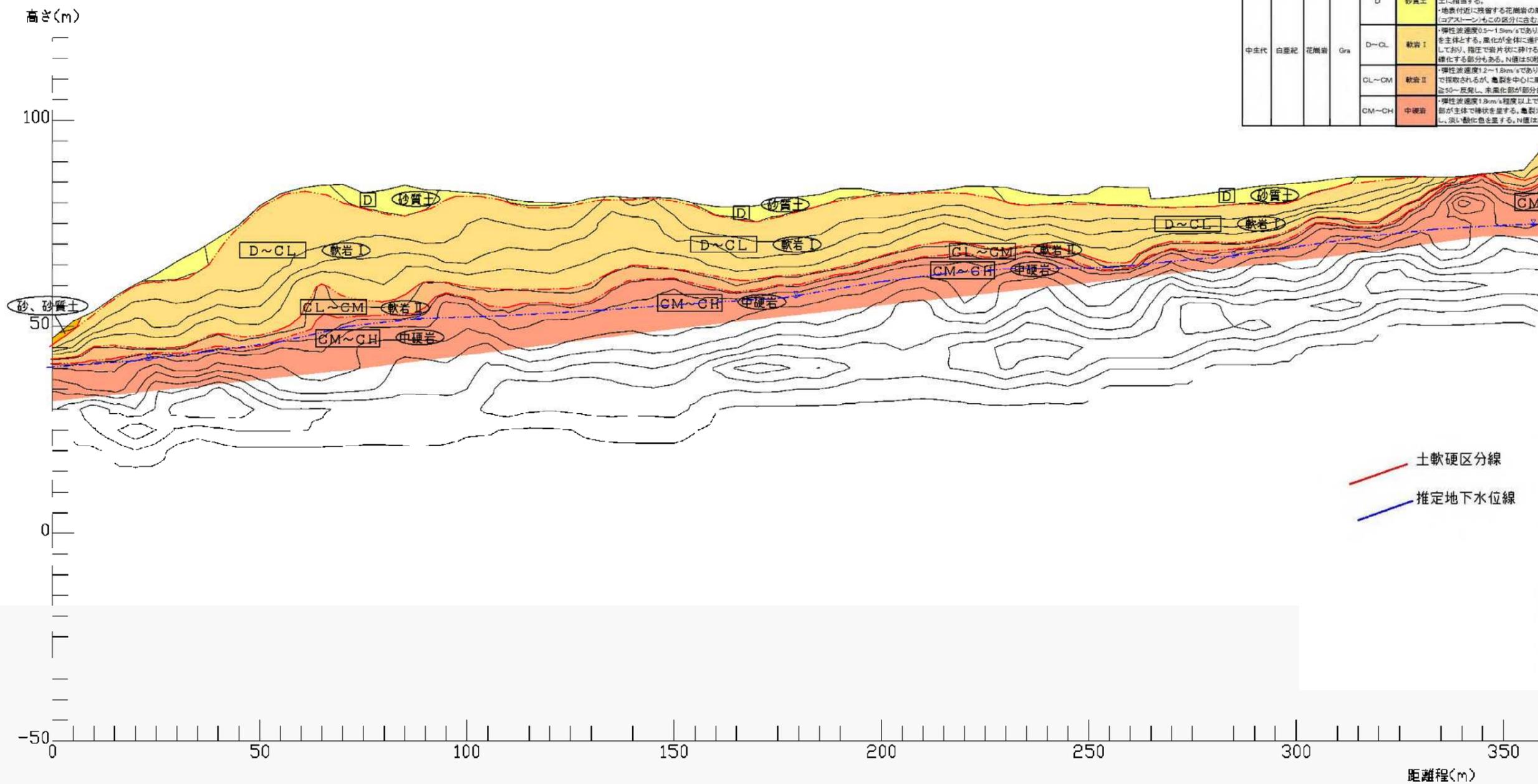
土軟硬断面図 (H測線)



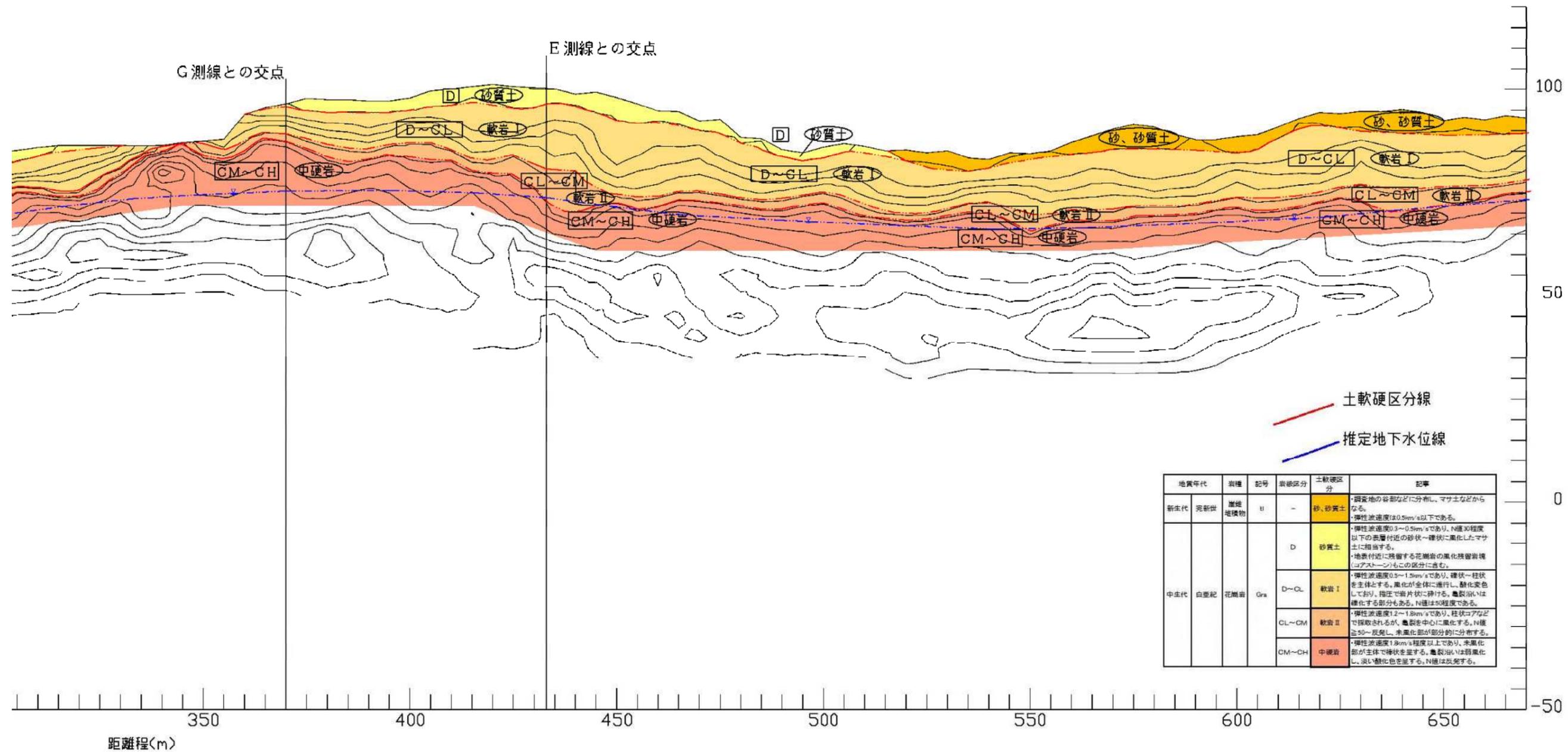
| 地質年代 | 岩種 | 記号 | 岩種区分 | 土軟硬区分 | 記事 | |
|------|-----|-----|------|-------|---|---|
| 新生代 | 更新世 | si | - | 砂、砂質土 | 調査地の谷部などに分布し、マサ土などからなる。 弾性波速度は0.5m/s以下である。 | |
| 中生代 | 白堊紀 | 花崗岩 | Gra | D | 砂質土 | 弾性波速度0.3~0.5m/sであり、N値30程度以下の表層付近の砂状~礫状に風化したマサ土に相当する。 地表付近に残存する花崗岩の風化残存岩塊(アスターン)もこの区分に含む。 |
| | | | | D~CL | 軟岩 I | 弾性波速度0.5~1.5m/sであり、礫状~柱状を主体とする。風化が全体に進行し、酸化変色しており、指圧で岩片状に碎ける。亀裂沿いは礫化する部分もある。N値は50程度である。 |
| | | | | CL~CM | 軟岩 II | 弾性波速度1.2~1.8m/sであり、柱状コアなどで採取されるが、亀裂を中心に風化する。N値は50~反発し、未風化部分が部分的に分布する。 |
| | | | | CM~CH | 中硬岩 | 弾性波速度1.8m/s程度以上であり、未風化部が主体で礫状を呈する。亀裂沿いは弱風化し、深い酸化色を呈する。N値は反発する。 |

土軟硬断面図 (I測線-1)

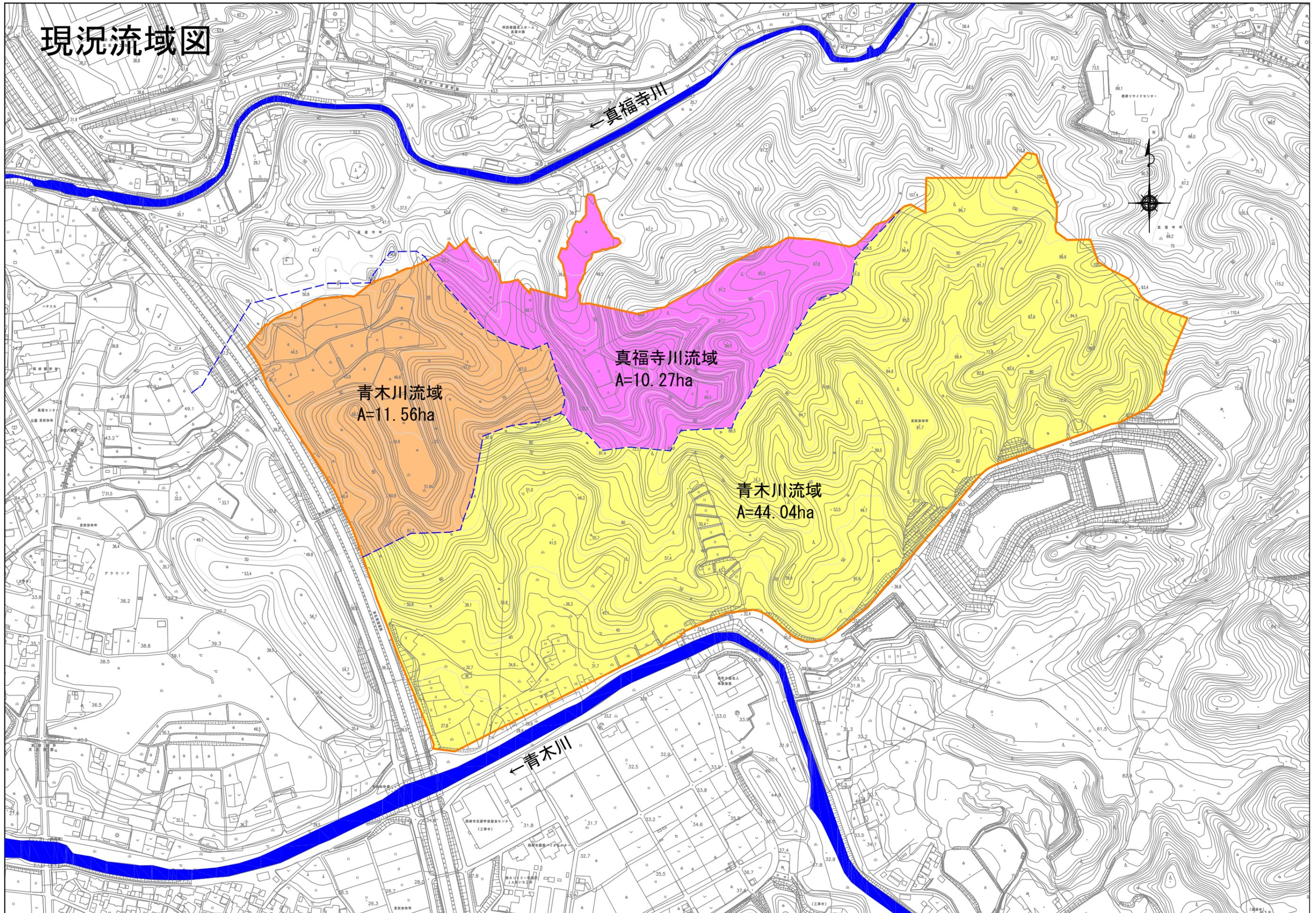
| 地質年代 | 岩種 | 記号 | 土軟硬区分 | 記号 | 記号 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 新生代 | 更新世 | 崖壁堆積物 | 砂、砂質土 | - | - |
| 中生代 | 白堊紀 | 花崗岩 | Gra | D | 砂質土 |
| | | | | D~CL | 軟岩 I |
| | | | | CL~CM | 軟岩 II |
| | | | | CM~CH | 中硬岩 |



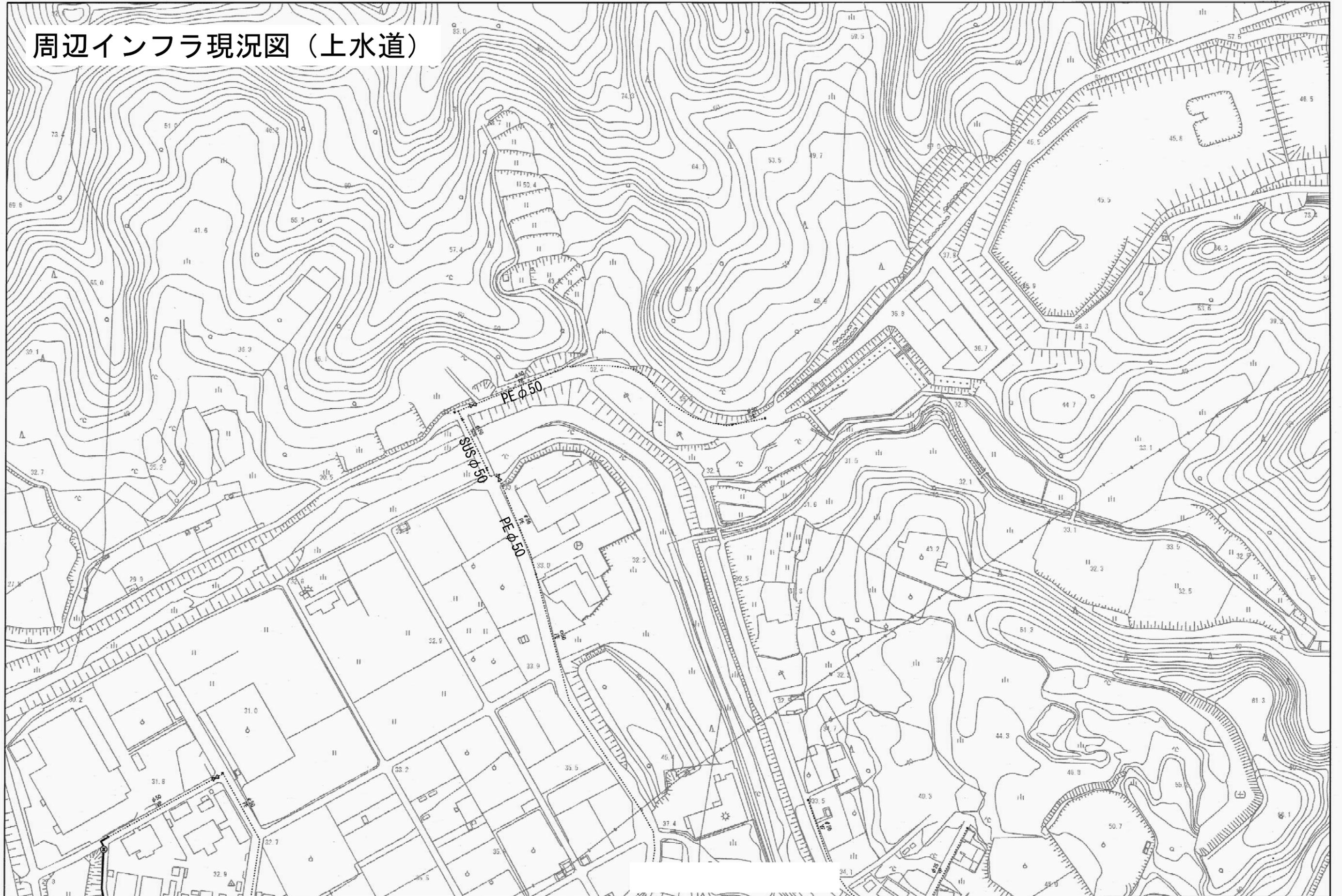
土軟硬断面図 (I測線-2)



現況流域図



周辺インフラ現況図（上水道）

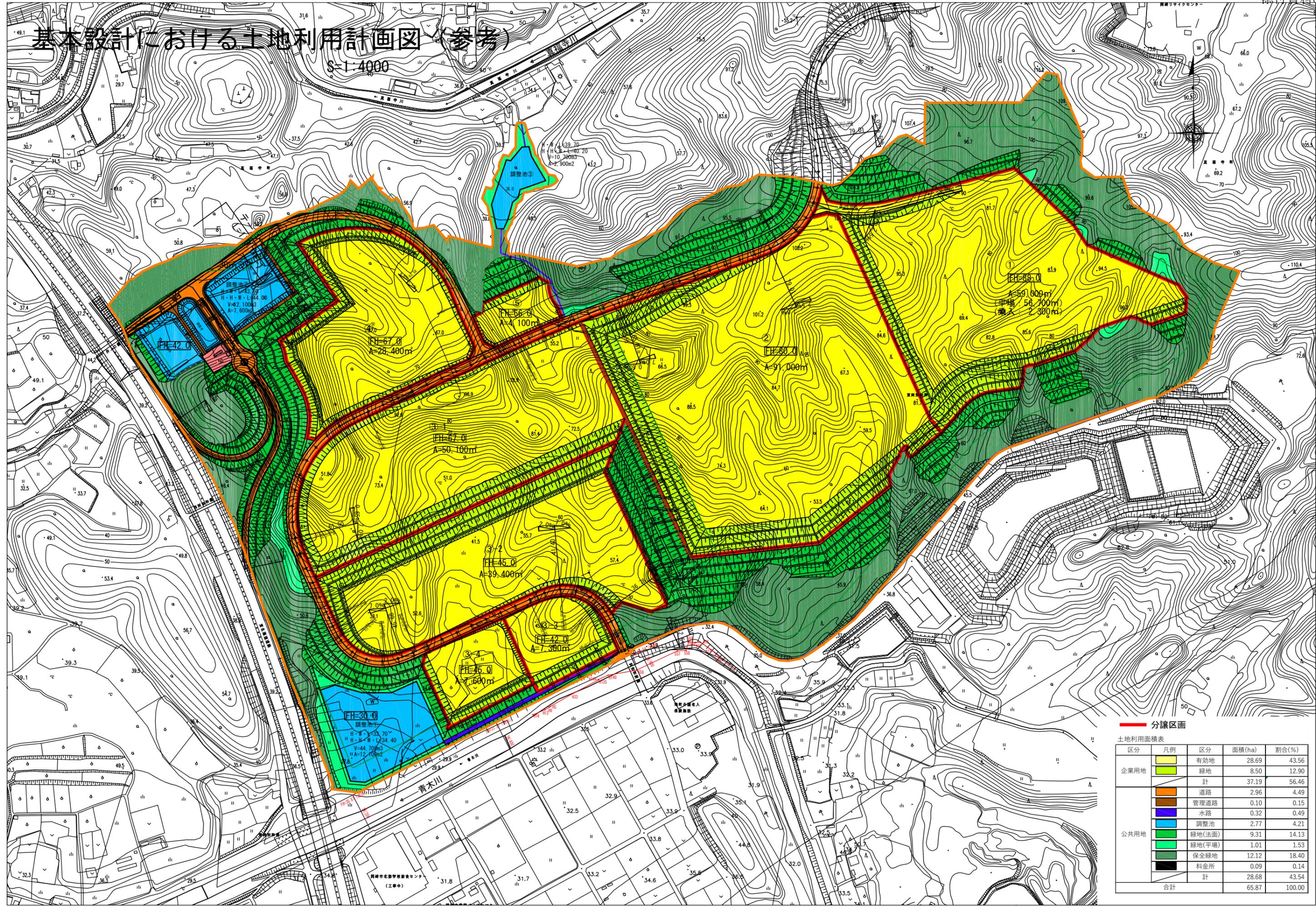


2,500分の1

交付日 2016年03月16日
この図面は配管図のコピーです。記載内容については現地で確認してください。

基本設計における土地利用計画図(参考)

S=1:4000



分譲区画

土地利用面積表

| 区分 | 凡例 | 区分 | 面積(ha) | 割合(%) |
|------|----|--------|--------|--------|
| 企業用地 | | 有効地 | 28.69 | 43.56 |
| | | 緑地 | 8.50 | 12.90 |
| | | 計 | 37.19 | 56.46 |
| 公共用地 | | 道路 | 2.96 | 4.49 |
| | | 管理道路 | 0.10 | 0.15 |
| | | 水路 | 0.32 | 0.49 |
| | | 調整池 | 2.77 | 4.21 |
| | | 緑地(法面) | 9.31 | 14.13 |
| | | 緑地(平場) | 1.01 | 1.53 |
| | | 保全緑地 | 12.12 | 18.40 |
| | | 料金所 | 0.09 | 0.14 |
| | | 計 | 28.68 | 43.54 |
| | | 合計 | 65.87 | 100.00 |